

平成27年度(平成28年産)麦類作況試験生育状況(古川農試)[12月15日調査結果]

1. 供試品種および耕種概要

・供試品種

	早生	中生
六条大麦	シュンライ	ミノリムギ
小麦	あおばの恋	シラネコムギ ゆきちから

- ・播種期：10月20日
- ・播種量：0.9kg/a（ドリル播き，条間25cm）
- ・施肥：尿素磷加安777号
(N：0.8kg/a, P₂O₅：0.8kg/a, K₂O：0.8kg/a)
- ・土づくり肥料等：粒状苦土石灰 6kg/a

- ・排水対策：明渠，暗渠及び弾丸暗渠2.0m間隔
- ・ほ場条件：沖積埴壌土 転換初年目（前作水稲）

2. 気象概況[10月上旬～12月中旬]（表1，図1）

- ・平均気温は，10月は平年並。11月は平年並から高く，12月上中旬は平年並から高かった。
- ・降水量は，10月は県内24観測地点中14地点で少ない方から1位を記録した。11月は多雨となり，14日には大雨となった。12月上中旬は多雨であった。
- ・日照時間は，10月は多照で県内18観測地点中16地点で，多い方から1位を記録した。11月は平年並からやや少ない。12月上～中旬は平年並みからやや多い。

表1 気象経過(10/1～12/20)古川アメダス

期 間	平均気温 (°C)		積算降水量 (mm)		積算日照時間 (hr)	
	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比
10月上旬	14.8	-1.0	12.0	26%	82.9	196%
10月中旬	13.5	-0.2	1.0	3%	63.8	138%
10月下旬	11.2	-0.3	3.5	10%	71.1	133%
11月上旬	10.4	0.7	38.5	147%	44.2	97%
11月中旬	10.5	3.1	73.0	356%	43.4	105%
11月下旬	5.9	0.4	38.5	182%	35.5	85%
12月上旬	4.3	0.2	29.0	162%	40.7	108%
12月中旬	5.4	2.9	43.0	339%	41.4	117%

注) 平年差(比)はアメダス平年値との比較

3. 生育概況

1) 播種・出芽状況（表2）

- ・播種後に数mmの降雨があったものの，乾燥が強くなり，大麦，小麦とも出芽日数が11日と平年より3日多かった。出芽揃いは，良好であった。

2) 12月15日現在の生育状況（表3）

- ・草丈は平年並からやや長く，葉数はミノリムギ，シラネコムギで平年よりやや多く，他は平年並となっている。
- ・茎数は平年比8～9割台であるが，ゆきちからでは少なくなっている。
- ・発芽に日数を要したが，高温，多照傾向と降水も有り，生育が進んで越冬前の目標生育量に達している。

3) 幼穂分化状況（表3）

- ・大麦の幼穂長は0.5～0.6mm程であり，平年並となっている。
- ・小麦の幼穂長は早生のあおばの恋で0.6mm，その他では0.2mm程度と平年並となっている。

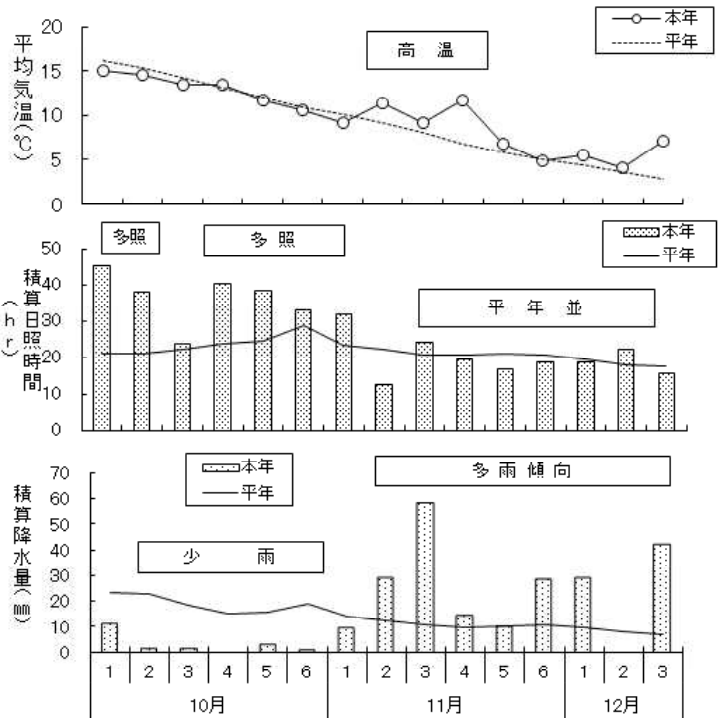


図1 半旬別気象経過（古川アメダス）

表2 出芽状況

品種	播種期 (月/日)	出芽期 (月/日)	出芽日数			出芽 良否
			本年 (日)	前年差 (日)	平年差 (日)	
シュンライ	10/20	10/31	11	3	3	良
ミノリムギ	10/20	10/31	11	3	3	良
あおばの恋	10/20	10/31	11	3	3	良
シラネコムギ	10/20	10/31	11	3	3	良
ゆきちから	10/20	10/31	11	3	3	良

注1) 出芽良否: 良, 中, 不良の3段階を基本とする。

2) 出芽日数: 播種翌日から出芽期までの日数。

3) 平年差は過去5か年(平成25年度を除く。「あおばの恋」は平成22年度から供試のため過去4か年)の平均値との比較。

表3 生育状況(12月15日現在)

品種	草丈			茎数			葉数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
シュンライ	12.9	125	104	589	97	87	4.2	-0.3	-0.2
ミノリムギ	14.1	144	105	577	93	80	5.2	1.1	0.7
あおばの恋	16.4	127	116	541	98	86	4.4	-0.1	0.0
シラネコムギ	14.2	116	101	551	79	84	5.0	0.4	0.4
ゆきちから	12.8	120	102	421	64	71	4.6	0.1	0.1

品種	幼穂長			幼穂分化 程度	幼穂形成始期 (月/日)	
	本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)		本年	平年
	シュンライ	0.5	-0.2	-0.3	V~VI	-
ミノリムギ	0.6	0.1	0.0	VI~VII前	-	2/15
あおばの恋	0.6	0.1	0.1	V~VI	-	2/22
シラネコムギ	0.2	-0.1	-0.1	V未満	-	3/16
ゆきちから	0.2	0.0	-0.1	V未満	-	3/21

※越冬前目標生育量: 葉齢4~5枚, 分けつ1~2本, 茎数400~500本/㎡

注1) 平年比(差)は過去5か年(「あおばの恋」は平成22年度から供試のため過去4か年)の平均値との比較。

2) 幼穂形成始期の平年値は過去5か年(「あおばの恋」は平成22年度から供試のため過去4か年)の平均値。

3) 幼穂形成始期: 幼穂長1mmに達した日。

4) 幼穂分化程度: V期未満は省略した。

平成27年度(平成28年産)麦類生育調査ほ生育状況〔12月15日調査結果〕

表4 耕種概要

担当普及 センター	品種名	実施場所	畑転換 年数	排水対策 (明渠、暗渠等)	播種期 (月/日)	播種量 (kg/a)	播種様式	条間 (cm)
大河原	シュンライ	大河原町	17	暗渠	11月1日	1.0	ドリル播き	30
	ミノリムギ	大河原町	17	暗渠	11月5日	1.0	ドリル播き	30
仙台	シュンライ	大和町	14	明渠、暗渠	10月19日	1.0	ドリル播き	30.9
大崎	シラネコムギ	大崎市古川沢田	2	暗渠、補助暗渠	10月16日	1.0	ドリル播き	15.1
美里	シラネコムギ	鹿島台	2	明渠、暗渠	10月22日	1.2	ドリル播き	22
	ゆきちから	涌谷	1	暗渠	10月29日	1.1~1.2	ドリル播き	24
登米	あおばの恋	登米市	20	暗渠	11月22日	1.4	ドリル播き (不明) *	
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	1	暗渠、弾丸暗渠、明渠予定	10月11日	1.0	ドリル播き	30
	ミノリムギ	石巻市桃生町	1	暗渠、弾丸暗渠、明渠予定	10月14日	1.0	ドリル播き	30
	シラネコムギ	石巻市桃生町	確認中	なし	10月9日	0.9	ドリル播き	22.5

*12月15日現在出芽不ぞろいのため

表5 生育状況(12月15日現在)

担当普及センター	品種名	実施場所	播種期(月/日)	出芽良否	草丈			茎数			幼穂長(mm)
					本年(cm)	前年比(%)	平年比(%)	本年(本/m ²)	前年比(%)	平年比(%)	
大河原	シュンライ	大河原町	11/1	良	12.0	160	165	232	123	111	—
	ミノリムギ	大河原町	11/5	良	12.1	195	174	157	71	63	—
仙台	シュンライ	大和町	10/19	良	12.5	237	—	346	263	—	0.5
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	10/16	良	15.0	417	144	847	311	205	0.2
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	10/22	良	9.4	121	152	669	222	261	—
	ゆきちから	涌谷町	10/29	良	11.1	185	145	321	133	129	—
登米	あおばの恋	登米市豊里町	11/22	—	—	—	—	—	—	—	—
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	10/11	良	14.4	124	130	268	87	67	0.9
	ミノリムギ	石巻市桃生町	10/14	やや良	18.0	149	157	328	159	80	0.9
	シラネコムギ	石巻市桃生町	10/9	良	19.6	151	123	729	127	89	0.3

注1) 出芽良否は遠観で判断(良, 中, 不良の3段階を基本とする)。

2) 仙台「シュンライ」は平成25年度から実施場所が変更となったため, 平年値はない。

3) 登米「あおばの恋」は12月15日現在出芽不ぞろいのため

担当普及センターのコメント

1) 大河原

- ・播種以降, 高温傾向で推移したため, 出芽は良好であった。草丈は, 両品種とも平年を上回っており, 茎数についてシュンライは平年より多めであり, ミノリムギは少なめである。

2) 仙台

- ・10月中旬に播種作業が行われ, 播種後は少雨, 高温傾向で推移したことにより, 生育は順調に進んだ。
- ・12月15日時点の調査結果では草丈12.5cm(昨年比2.4倍), 茎数346.3本/m²(昨年比2.6倍)であり, 12月中には越冬前必要生育量(茎数400~500本/m²)を確保することが想定される。
- ・生育ステージ, 生育量共に平年と比べ進んでいることから, 麦踏みや追肥について適期を逃さないよう, 随時指導する必要がある。

3) 大崎

- ・播種が平年より5日早く, 10月16日に行われ, 出芽も良好であり, 天候にも恵まれたため, 旺盛な生育となっている。
- ・草丈は平年比144%, 茎数は平年比205%であった。
- ・幼穂長は0.2mmであり, 現在は6葉が展開し, 平年の3月中旬程度の生育ステージとなっており, 生育はかなり早くなっている。

4) 美里

- ・シラネコムギ(鹿島台)ほ場では, 白鳥による食害がみられる。両品種とも葉数は3葉を過ぎており, 麦踏みができる生育ステージに達している。

5) 登米

- ・ほ場は出芽始と出芽期の間ごろ, 高さ0.5cm程度出芽がまばらに見られる。土中で発芽はしており, 今後1週間以内に出芽期に達する見込み。

6) 石巻

- ・10月は雨の日が少なかったことから, 播種作業は平年より1週間~10日程度早く, 出芽は概ね良好で, 湿害等による出芽不良は少ない。12月15日現在の生育は, 草丈, 幼穂長は平年を上回るが, 茎数は平年より少ない。また, 気温の低下とともに, 施肥窒素の消失や冬枯れが原因と見られる下位葉の黄化が目立ってきている。